

立候補推薦文

公益社団法人金沢青年会議所 理事長 浦 崇典

ヴァンガードたる J A Y C E E が 30 年後の未来を創る！柴田剛介君が金沢青年会議所理事長の時に掲げたスローガンです。一世代 30 年と言われる現代社会において、30 年後を取り巻く環境がどのようになっているのか。そのことを責任世代として誰よりも真摯に向き合い答えを導こうと考え、J C の事業を成功させる為だけの J C は必要ではない。青年経済人として、そして一人の人として明確な目標をもち、J C という組織を活かしながら、将来待ち受ける苦難を解決すべく運動を展開していかねばならない。それが青年会議所のあるべき姿と考え、このスローガンを掲げました。

柴田剛介君は 2003 年に金沢青年会議所に入会して以来、これまで 12 年に渡り数多くの経験を積んできました。それは L O M だけに留まらず、これまで 7 度の出向を通して普段では体験することができない成長の機会を頂きました。そして積み重ねる一年を自身の成長へとつなげるだけでなく、L O M にもしっかりとフィードバックすることで、L O M の発展に多大なる貢献をしてきました。特に 2012 年は金沢青年会議所の公益法人格の認定、J C I 世界会議国内誘致権の承認、創立 60 周年など時代の転換期の理事長としての重責を担いました。また日本 J C においても委員長、副会頭を歴任し、全国の志を同じうする多くのメンバーと共に積極果敢なチャレンジ精神と行動力を磨かせていただきました。国際グループの担当副会頭としては J C I の世界観を最前線で体感し、世界の中の日本の立ち位置を理解しながら民間外交を基軸とした恒久的世界平和の実現に向けて活動を展開してきました。また本年は専務理事として鈴木会頭が掲げられます「たくましい日本」の創造にむけて推進される全ての運動・活動が、最大の成果を生み出す事ができるように内助の功を発揮し、組織運営を俯瞰的に見る貴重な経験も積ませていただいております。

柴田剛介君のよく引用する言葉に「精力善用・自他共栄」という柔道の父、嘉納治五郎が語った原理原則があります。これは社会生活を存続させる為には、自分と社会が共に栄えることを第一義とし、自身の心身の力を無駄なく効率的に活用するべきであるとのことです。正にこれまで積み上げてきた知識・見識・胆識を恩送りの意味も込めて、全国のメンバーのため、わたしたちの住み暮らす地域のため、そして未来の日本のために先駆者として力を発揮してくれると確信しております。

結びに柴田剛介君を輩出する L O M の理事長として、自信をもって会頭候補者として推薦させて頂くと共に、日本の青年会議所運動の推進に向けて、L O M としても最大限の支援をお約束し、全国のメンバーの皆様には柴田剛介君に対するご支援を何卒宜しくお願い申し上げます。